

遊泳中の子どもの死亡事故発生！

浮き輪などのフロート遊具を使用していた海水浴客が沖に流されたり波にのまれる事故が立て続けに発生しており、子どもの死亡事故も複数発生しています！

遊泳中の事故防止のポイント

✓ 気象海象の情報を確認しよう！

風が強い日や波が高い日は、海水浴を控えましょう。海水浴を「止める勇氣ある決断」が大切です。特に強風注意報、波浪注意報以上が発令中の海水浴は大変危険です。

✓ ライフジャケットを着用しよう！

自分の身を守るためにも、浮力を確保できるライフジャケットを着用しましょう。(ライフジャケットは、国土交通省の安全・技術基準に適合したものを着用するよう推奨します。)

✓ ライフセーバーや監視員のいる管理された海水浴場で泳ごう！

事故が発生した場合、速やかに付近のライフセーバーや監視員、海上保安庁(☎118)に救助を求めましょう。

✓ 子どもだけで遊泳せず、保護者は子どもから目を離さない！

海に入るときは大人が先に入り、海から上がるときは大人が後から上がります。

✓ 浮き輪やビーチボールなどが沖に流されても無理に取りに行かない！

浮き輪などのフロート遊具は風の影響を受けやすく、陸から海への風により、あっという間に沖に流されてしまいます。

沖に流された浮き具を取りに行くと岸に戻れなくなるおそれがあるので、無理に取りに行こうとしないでください。

✓ 離岸流などの複雑な流れに注意！

離岸流(沖に向かって発生する強い流れ)の幅は、約10mから30mほどあり、沖に流されたら落ち着いて海岸と並行に泳いで離岸流から脱出するか、無理に泳がず楽な姿勢で浮いて救助を待ちましょう。

ウォーターセーフティーガイド



Water Safety Guide

遊泳編



第九管区 海の安全通信

バックナンバーはこちら▶▶▶



問い合わせ先： 第九管区海上保安本部
海の安全推進本部 (交通部安全対策課)

〒950-8543
新潟県新潟市中央区美咲町1-2-1
TEL 025-285-0118



遊泳事故をなくそう！

海に入る前の30秒チェック



風や波などの気象海象を
確認しよう！



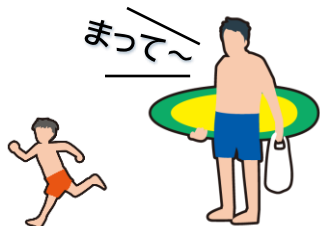
ライフジャケットを着用しよう！



溺れてる人発見！



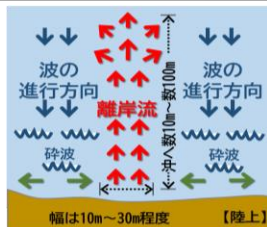
ライフセーバーや監視員のいる
管理された海水浴場で泳ごう！



子どもだけで遊泳せず、保護者は
子どもから目を離さない付けて！



浮き輪やビーチボールなどが沖に
流されても無理に取りに行かない！



離岸流などの複雑な流れに注意！

安全に海水浴を楽しむために

 Water Safety Guide

遊泳編



遊泳を安全に楽しむための情報や
事故状況を公開しています。